

令和7年度地域おこし事業(2次募集) 審査結果一覧

No.	申請区分	団体名	事業名	目的	事業の内容	事業費(円)	補助金額(円)	審査結果	意見
1	新規	Fujisawa Friendly クラブ	日越交流30周年記念事業	令和7年は、藤沢地域(旧藤沢町)とベトナム・ホーチミン市との交流が始まって30周年の節目の年である。これを記念するとともに、これまでの国際交流においてホームステイを受け入れてきた藤沢のホストファミリーとのオンライン交流を通じて、青少年との新たな交流の機会を創出し、少子高齢化が進行する中での国内外の交流の在り方を模索しながら、長く友情を育むことを目的とする。	ベトナム人講師を招いて中学生向けに言語・文化講座を実施するとともに、ホームステイで一関市を訪れたベトナム人の集まる会場をオンラインでつなぎ、ホストファミリーや中学生との交流を行う。また、交流30周年を記念し、ベトナムの旧正月「テト」にちなんだ行事として、みずき団子で会場を装飾し、異文化体験の機会を提供する。	106,000	70,000	採択	特になし
2	新規	いちのせき映画まつり実行委員会	映画鑑賞を通じた世代間交流の推進とコミュニティの活性化事業	少子高齢化や人口減少が進み、地域コミュニティの弱体化が懸念される一関市において、世代を超えた住民が映画をきっかけに交流し、感動や楽しさを共有することで、住民同士の連帯意識を醸成し、地域のつながりの再構築を推進する。	小学校生活が「コロナ禍」と重なり、さまざまな体験機会が失われた市内の小学6年生とその家族を対象に、「卒業する皆さんへ 12歳に贈る映画祭」として、3回にわたり映画上映会を開催する。また、30名限定で映画館内の上映設備見学の機会を提供する。	920,000	500,000	採択	・入場料収入に対して賃料が高額であると考えられるため、賃料について改めて精査されたい。 ・市内小学6年生とその家族を対象とする映画祭として、子どもたちに何を伝えたいのかという視点を明確にし、その意図に沿った作品選定を行われたい。
3	新規	一関絵本作家育成講座の会	絵本作家育成講座	国際的な絵本原画展への応募を前提とした講座を通じて、表現力と挑戦力を備えた創作人材を育成し、受講者が得た視点、技術、成果を市民参加型のワークショップや原画展等の体験の場を通じて地域へとひらいていくことを目的とする。	駒形あい氏及び広松由希子氏を講師として招き、ポロニーヤ国際児童原画展(BCBF)2027への応募に向けた絵本作家育成講座を開催する。また、受講者が講師となり、市民参加型の創作体験ワークショップを開催する。	343,000	223,000	採択	・ポロニーヤ国際児童原画展(BCBF)2027への応募を目指した2か年計画が示されているが、これを契機として、3年目以降もこうした取組が継続されることを期待したい。
4	新規	一関リノベーションまちづくり研究所	「リノベのたね」くらしを耕す空き家プロジェクト	少子高齢化と人口減少が進行する一関市において、急増する空き家を地域資源として活用し、住民のつながりと暮らしを再構築することで、コミュニティの活性化を図る。空き家、人材、素材の循環を通じて、誰一人として孤立せず、楽しく暮らせる持続可能な地域づくりを推進する。	空き家利活用を促進するため、Zoomによる相談窓口の設置、DIYワークショップを開催する。これらの取組を通じて寄せられた意見をもとに現地調査を行い、空き家の課題把握と解決策の検討を進める。	750,000	500,000	採択	・収支予算書のワークショップ用材料については、予算の用途が不明確であるため、補助金精算時には、支出の内訳を具体的に記載すること。